

NK

EXCITING MESSAGE FOR DôTô

熱・気・球

53 2006
DôTô



閣議に向かう昭一大臣（総理官邸にて）

小泉内閣ラストスパート！

— 昭一大臣 改革総仕上げに向け全力投球 —



「譲るところは譲り、攻めるところは攻め、 どいつしても守らなければならぬ」といふのは守る」 難題 WTO 交渉！ 最終章へ… 続く緊張

昨年10月、昭一代議士は農林水産大臣に就任しました。農水大臣は、小淵内閣での入閣時以来。農政通として知られてのことや、経済産業大臣在任時を通して国際経験が豊かであることなどが起用につながりました。



WTO 交渉について二階経済産業大臣と共同記者会見に臨む

(2005.11.6～11 ジュネーブ)

就任当初から、WTO（世界貿易機関）農業交渉を重要課題ととらえ、全力で取り組んでいます。

11月6～11日にかけては関係閣僚会合などに出席するたため、ロンドンとジュネーブに出張。スイスのダイス連邦経済大臣、フランスのビュスロ農漁業大臣らと会談しました。また12月に開催された香港閣僚会合では連日深夜にわたり各国閣僚と激論を交わし、交渉のさらなる促進をうたって閣僚宣言の取りまとめに大きく貢献しました。

今年に入り、交渉は最終局面に差し掛かりました。年内最終合意に向け、昭一大臣は海外出張を繰り返し、各国の担当閣僚らと精力的に話し合っています。1月にメキシコと米国、スイス、2月は

フランス、3月イギリス、4・5月はオーストリア、スイス、ブラジル、フランスなど、6・7月にもスイスを訪れるなどしました。

各国の主張には隔たりがあり、食料輸出大国が頑な姿勢を崩さないことから、交渉の進展は容易ではありません。「譲るところは譲り、攻めるところは攻め、どうしても守らなければならぬところは守る」。昭一大臣は、交渉がこう着状態にあっても、我が国の国益を守りながら、自由貿易の推進、後発開発途上国の発展を助ける努力を粘り強く積み重ねています。



ビュスロ農漁業大臣と会談

(2005.11.6～11 パリ)



ダイス・スイス連邦経済大臣と対談 (2005.11.6～11 ジュネーブ)



WTO 本部前で取材を受ける (2005.11.6～11 ジュネーブ)



フォックス墨大統領との会談 (2006.1.8～16 メキシコ)



ポエル EU 農業委員他と会談 (2006.3.9～13 ロンドン)



日・印・EU による会談に出席 (2006.3.9～13 ロンドン)



ラミー WTO 事務局長と対談 (2006.4.27～5.7 ジュネーブ)



シュワブ、ポートマン新旧米通商代表及びジョハンス米農務長官と懇談 (2006.4.27～5.7 ジュネーブ)



ナート印商工大臣と対談 (2006.6.5 大臣室にて)

強い農業作りを目指し改革に全力投球！！

昭一大臣は日本国内でも、さまざまな公務をこなしています。

国会では連日、米国産牛肉の輸入再開問題など食の安心・安全にかかわる政府の対応について、分かりやすく説明してきました。

農政改革は最重要課題の一つです。消費者と生産者が互いの大切さを理解し合い、農業を発展させること、海外にも積極的に進出できる強い農業づくりが必要と考え取り組んでいます。

日本が「攻めの農業」を実践するに当たり、安全でおいしい農産物を豊富に生産する十勝農業は必要不可欠の存在です。今年3月の「フーデックス・ジャ

パン 2006」では、フランスのフォリシエ食品関係省庁間調整担当閣僚を十勝物産館に案内、十勝農業のすばらしさを紹介しました。4月には、在京の各国大使を観桜会に招き、農業に関する我が国の立場に理解を求めました。

昭一大臣はまた、安全な食生活を守る閣僚として、食を通じた教育に家庭などが取り組むよう、テレビや雑誌の取材、催しなどで強く訴えています。

農業発展やWTO交渉などへの積極的貢献は国際的に評価され、今年5月にはフランス政府から農事功労章の最高位、コマンドゥールを受けました。



(2005.3.15 幕張メッセで開かれたフーデックス2006を視察する)



(2005.11.18 自ら筆をとられて「農政改革推進本部」の看板を書く)



(2006.3.8 政府インターネットテレビの収録で永井美奈子さんからインタビューを受ける)



(2006.4.3 昭一大臣御夫妻主催の在京各国大使を招いた観桜会)



(2006.4.18 雑誌「笑う食卓」の取材で服部幸應氏と対談)



(2006.4.19 チューリップキャンペーンで訪れたとよま特産大使の表敬を受ける)



(2006.4.21 緑の羽根着用キャンペーンで「日本さくらの女王」とともに官邸を訪れる)



(2006.5.26 フランス農事功労章(コマンドゥール)授与式フランス大使館にて)



(BSE問題等の答弁にたつ昭一大臣)

世界各国の要人が昭一大臣を頼りに訪ねてきます

昭一大臣は、国際社会の日本という視座で常に公務を続けてきました。主要閣僚の一人として、持ち場の農業に限らず、各国のさまざまな分野を受け持つ閣僚と会うこともしばしばです。幅広い閣僚との対話によって、各国と信頼関係が築かれ、日本の諸施策に対する国際社会の理解は得られやすくなります。

今年3月にイギリスのジョンソン貿易産業大臣、4月にはフランス領ポリネシア（タヒチ）のオスカー・テマル大統領の表敬を受けるなど各国の要人が昭一大臣を訪ねてきます。



英・ジョンソン貿易産業大臣表敬訪問
(2006.3.7 大臣室にて)



仏領ポリネシア（タヒチ）オスカー・テマル
大統領の表敬
(2006.5.15 大臣室にて)



アモリム伯外務大臣と会談
(2006.4.13 大臣室にて)

地元 十勝・帯広でも全力投球

農林水産大臣として、十勝・帯広でさらに精力的に! 一生懸命に!!



二度目の農林水産大臣に就任後、初めてのお国入りをする昭一大臣。(2005.11.12)



地元帯広で開かれている東北北海道林業人新年交礼会での昭一大臣。(2006.1.6)



十勝南ブロックの後援会開催の新年交礼会。約320人が参加し、挨拶する昭一大臣。(2006.1.7)



帯広連合後援会の新年交礼会で支持者約800人を前に国政報告を行う昭一大臣。(2006.2.11)



約1000人が参加した「WTO十勝大会」で決意を述べる昭一大臣。(2006.2.12)



高規格道路の開通報告会に出席し、挨拶する昭一大臣。
(2006.3.21)



独立行政法人・家畜改良センター十勝牧場を訪問、クローン牛の生産技術などを視察する昭一大臣。(2006.3.30)



十勝産業振興センター開所式に出席し、施設の重要性を語る昭一大臣。(2006.4.1)



帯広市長選告示をうけ、砂川候補の選対本部出陣式で勇ましく勝利を誓う昭一大臣。(2006.4.9)



帯広市長選での砂川候補勝利に、選対事務所で支持者と喜びを分かち合う昭一大臣。
(2006.4.16)



JA幕別町のナガイモに続き、管内酪農家も視察。生産現場を積極的に訪問する昭一大臣。
(2006.5.13)



帯広柏葉高校新聞局が昭一大臣にインタビュー取材。若い世代と積極的に語り合った。
(2006.6.4)



昭一大臣の長年の構想で「田園空間博物館」の事業が始動。オープニングセレモニーに出席し、テープカット。(2006.6.4)



下浦幌地区の畑で冷湿害の実情の説明を受ける昭一大臣
(2006.7.16)